

ボールの特性レポート BALL REPORT



ボール名 ゼン・ジーピーティー	投球者 徳江 和則	センター 平和島スターボウル
RG 2.470	Δ RG 0.054	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

テストボール：ゼン・ジーピーティー

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 4 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

比較対照ボール：ゼン・ゴールドラベル

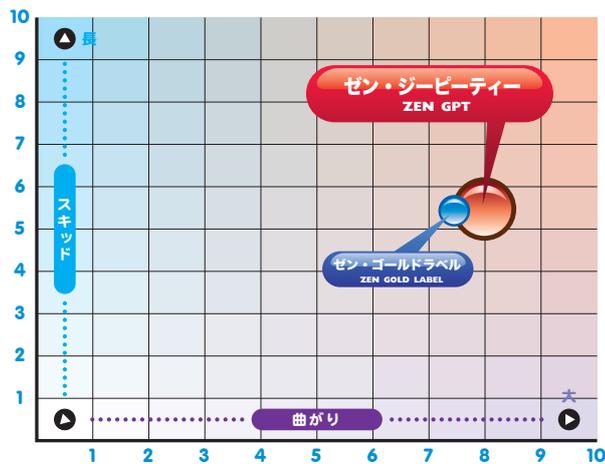
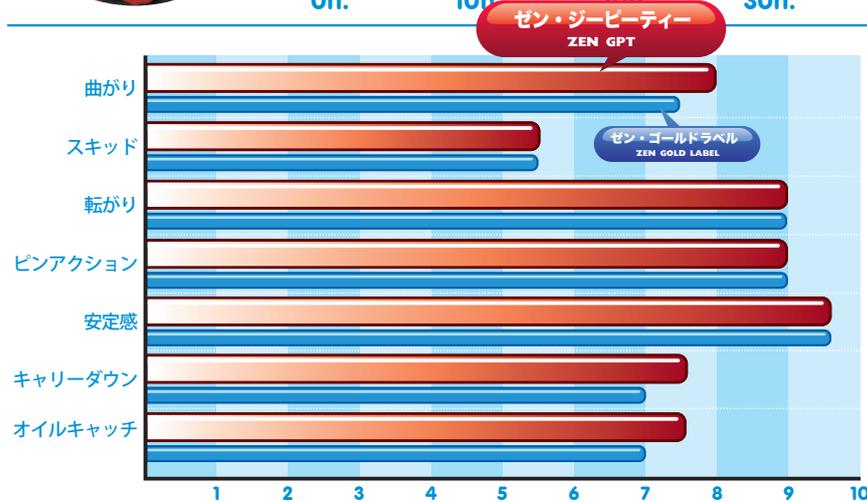
フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 4 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



レーンコンディション: Light Oil, Light to Medium, Medium Oil, Medium to Heavy, Heavy Oil

バックエンドリアクション: Smooth, Smooth to Arc, Arc, Arc to Sharp, Sharp Angle

レンジス: Early Roll, Early to Med, Med-Lane, Med to Late, Late Roll

ボールの評価

2024年2月にダリア・パヨンクの全国縦断ツアーが相模原パークレーンを皮切りに行われます。それに先駆け900GLOBALからダリアモデルとして3つのボールが発売されることになり、その中の1つがこのZEN GPTです。

ダリアモデルには特別にAI化されたコアが搭載され、GPTという名称が付けられています。AI化されることの利点は14Pから16Pまでコアの数値を変えずにパフォーマンスを均一化するだけでなく、ボール内部の比重調整により、RGをさらに下げて転がりやすくし、 Δ RGを上げられることで、より転がり感を活かしながら奥のネジれを大きくすることができるコアのハイスpek化と、インナーシェルの比重変更に伴う独自のピンキャリア向上の恩恵までも付与されることにあります。

それにZEN GPT用に特別抽出されたReserve Blend 80X Pearl Reactiveカバーはダリアモデルにだけ搭載される見込みなので、ハイスpekなGPTコアとスペシャルなカバーストックの組み合わせだけでも持っている価値のあるスペックだと思います。転がり感が増し、さらに奥の動きが大きくねじれ、80XPearlカバーストックによりZEN GOLD LABELのReserve Blendの800シリーズともしっかり差別化され、ワンランク上のねばり強さを感じていただける仕上がりは、ZENシリーズを気に入って使用されている方からこれからZENシリーズを試そうと思っている方まで、対称コアならではの持続的な転がりりと安定した軌道を得て、コンディションに対峙出来るでしょう。

特記事項

最先端のAI化されたコアテクノロジーにスペシャルなReserve Blend 80X Pearl Reactiveカバーは、ワンランク上のフィニッシュラインと粘り強いキャッチを感じさせてくれるでしょう。